

2. 産業分析の手法 ステップ1: 地域の産業構造の全体像を把握②

(岐阜県瑞浪市、福岡県うきは市の分析より作成)

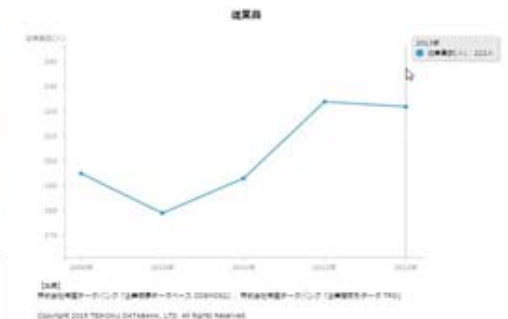
産業マップ／全産業花火図(中分類)



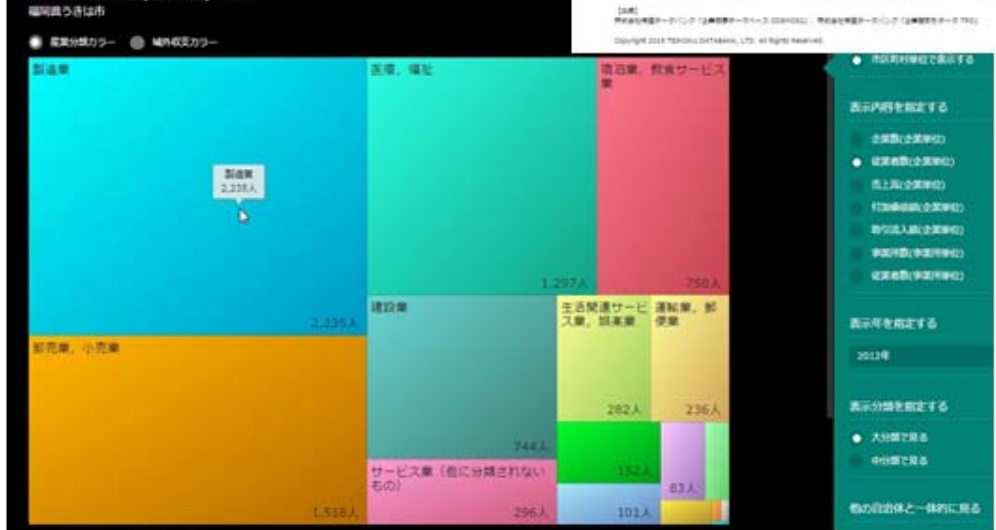
付加価値額

全産業花火図を中分類で表示すると、付加価値額においては、「窯業・土石製品製造業」「医療業」が、取引流入額では「窯業・土石製品製造業」「機械器具卸売業」「建設業」「金属材料等卸売業」が上位を占めていることがわかる。域外収支カラーで表すと、「窯業・土石製品製造業」「電気機械器具製造業」が域外からの資金獲得していることが把握できる。

☆同社は、従業員数でも市内の製造業従業者数の約1割を占めている。



2012年 従業員数(企業単位) 大分類



2. 産業分析の手法 ステップ2: 業種を絞って詳細を把握 (島根県松江市の分析より作成)

製造業_生産用機械器具製造業の詳細

— 労働生産性が低下している理由(仮説) —

国内農業自体が縮小しており、農業用機械の国内需要が減少の一途をたどっていることが考えられる。
⇒海外(特に農業国)への農業用機械の販路拡大策が求められている。

松江経済圏で見た産業特性

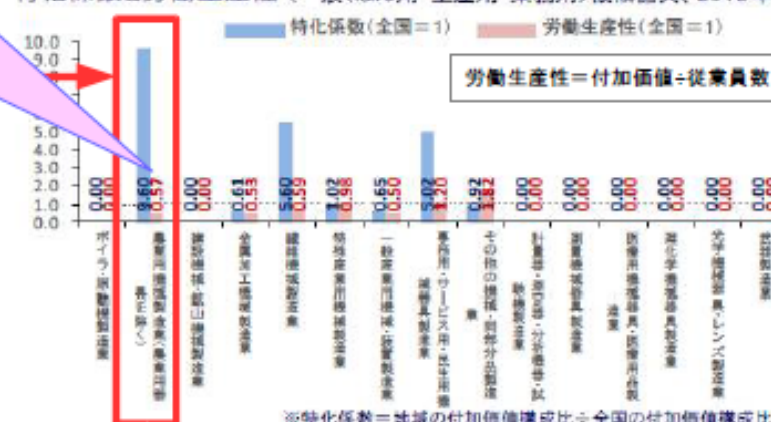
(松江経済圏:松江市、安来市、雲南市)

- ・2012年の特化係数が最も高いのは農業用機械(農業用器具を除く)となっている。
- ・ただし、農業用機械(農業用器具を除く)は、1990年から2012年にかけて、事業所数、従業者数ともに減少がみられ、産業として縮小傾向にあることが見て取れる。

特化係数と労働生産性(一般(はん用・生産用・業務用)機械器具)



特化係数と労働生産性(一般(はん用・生産用・業務用)機械器具、2012年)



※特化係数=地域の付加価値構成比÷全国の付加価値構成比

従業者構成比と平均賃金(一般(はん用・生産用・業務用)機械器具、1990年、2012年)

産業名称	1990年			2012年			差分(2012年-1990年)		
	事業所数	従業者数(人)	平均賃金(万円)	事業所数	従業者数(人)	平均賃金(万円)	事業所数	従業者数(人)	平均賃金(万円)
パイラ・運動機器製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
農業用機械製造業(農業用器具を除く)	26	1,564	7.6%	21	875	6.9%	-5	-689	-0.8%
農産物加工・食品製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
金属加工機械製造業	28	672	3.3%	13	296	2.3%	-15	-376	-1.0%
繊維機械製造業	13	616	3.0%	3	194	1.5%	-10	-422	-1.5%
特殊産業用機械製造業	5	279	1.4%	15	300	2.4%	+10	+21	+1.0%
一般産業用機械・装置製造業	12	263	1.3%	9	386	3.0%	-3	+123	+1.7%
事務用・サービス用・民生用機械器具製造業	8	946	4.0%	7	682	5.3%	-1	-264	+0.7%
その他の機械・同部品製造業	16	771	3.8%	7	171	1.3%	-9	-600	-2.4%
計量器・測定器・分析機器・試験機器製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
測量機械器具製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
医療用機械器具・医療用品製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
理化学機械器具製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
光学機械器具・レンズ製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
武器製造業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
一般(はん用・生産用・業務用)機械器具計	108	5,111	25.0%	75	2,904	22.8%	-33	-2,207	-2.2%

2. 産業分析の手法 ステップ3: 産業別の販売先・仕入れ先の把握①

(香川県の分析より作成)

4. 「食料品製造業」に対する支援

- 「食料品製造業」の産業別の販売取引状況（図 14）を見ると、東京、神奈川などの関東圏や大阪などの関西圏の卸売業、小売業を中心に取引がなされている。さらに企業別の販売取引状況（図 15）をみると、その傾向に加え、域内取引も活発であることがわかる。

図 14 食料品製造業 販売取引状況（産業別）



図 15-1 食料品製造業 販売取引状況（企業別）



2. 産業分析の手法 ステップ3: 産業のサプライチェーンの把握②

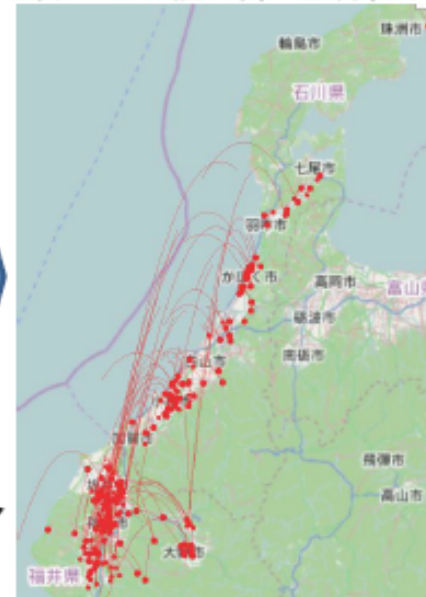
(石川県の分析より作成 ※福井県からも同様の分析提出あり。)

- 繊維産業については、これまでのクラスター活動の成果や企業訪問等を通じて、石川・福井両県間で取引が活発に行われていることは認識していたが、RESASの企業別花火図により、両県企業間の密接な取引状況が裏付けされた。
- このことから、繊維産業が集積し、合繊維物生産量が両県合計で全国の過半を占める石川・福井両県の行政、繊維業界団体、支援機関等において、行政の垣根を越えた支援を検討。
- 検討の結果、繊維企業が県域を越えて連携し、固有の技術の融合により取り組む素材開発や販路開拓を後押しするため、今年度新たに支援メニューを創設。採択案件を具体の成果に繋げ、産地全体に波及させるため、両県の関係機関が一体となって後押しし、広域連携のモデルとなるよう支援。

図表19 本県繊維企業の主要取引先について

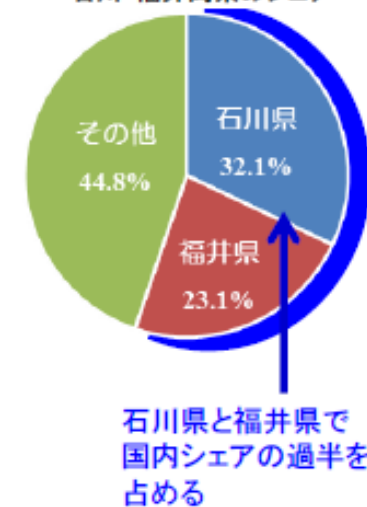


図表20 石川・福井両県の企業間取引



出典) 図表19、20ともRESAS分析画面を石川県で再編加工したもの

図表21 合繊維物生産高に占める石川・福井両県のシェア



出典) H25石川県鉱工業生産統計を再編加工したもの

8

出典: 株式会社帝国データバンク「企業間取引情報」

※帝国データバンクの「企業間取引情報」を用いた図表については、非公開であり、転記等は禁ずる。

2. 産業分析の手法 ステップ4: 地域中核企業の抽出と詳細把握 (大阪府堺市の分析より作成)

■産業マップ 《企業別花火図》

※電子部品・デバイス・電子回路製造業を検証

- *『電子部品・デバイス・電子回路製造業』から仕入取引状況を表示すると、域内の取引が少なく、川上企業が集積している東京・大阪を中心とした域外との仕入取引が多い。
- *付加価値額が高い業種であることから、当該産業を強化・育成することで、資本蓄積、設備等への再投資の創出が期待できる。
- *当該産業を強化するためには、製品の製造工程を「域外発注」で「域内仕入・自社内製化」とすることで、生産効率を高めることにつながる。
- *電子部品・デバイス・電子回路製造メーカーをコネクターハブ企業として抽出し、当該業種の仕入企業と一体支援することで、経済活動及び雇用創出の面からも効果が高いと期待される。

■電子部品・デバイス・電子回路(仕入 全産業・全ての取引)



製造業＝電子部品・デバイス・電子回路
(仕入 全産業・域内のみの取引)

■「電子部品・デバイス・電子回路製造業」の地域中核企業候補 (コネクター度:50% ハブ度:50%)

順位	企業名	資本金 (千円)	従業員数 (人)	売上高 (千円)	当期純利益 (千円)
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

(※イメージ図)

出典:株式会社帝国データバンク「企業間取引情報」

※帝国データバンクの「企業間取引情報」を用いた図表については、非公開であり、転記等は禁ずる。

2. 産業分析の手法 その他の事例

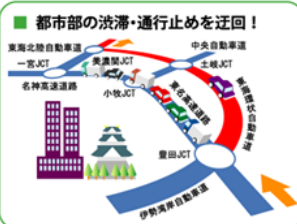
(三重県の分析より作成)

(3) 高速道路開通自治体における経済効果について(東海環状自動車道東回りの開通効果)

東回りの効果について

1. ルート選択肢の拡大

東部区間がほぼ開通したことで、名古屋市中心部の渋滞回避や事故等の通行止めの迂回が可能になり、新たなルートの選択ができます。



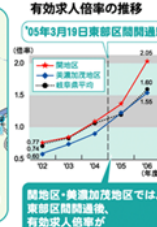
2. 新たな就職機会の拡大

東部区間がほぼ開通したことにより、著実に企業進出が進むとともに、新たな就職機会が生まれています。

東部区間沿線の主な工業団地



東部区間沿線地域の有効求人倍率の推移



国交省岐阜県
http://www.kanjiyou/hig

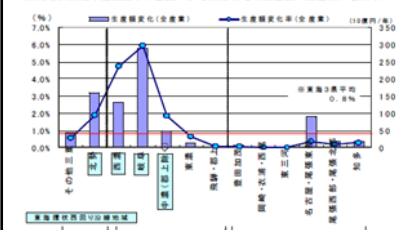
(3) 高速道路開通自治体における経済効果について(東海環状自動車道西回り開通に向けた効果と課題)

東海環状自動車道西回り沿線地域づくり検討資料

経済波及効果

	生産額の増加額 [※] (億円/年)		延長 (km)
	全国	岐阜県	
西回り	2,230	4,830	79.4
東回り等※1	5,080	2,000※2	157.8

(東海環状自動車道西回りの整備による細分化地域生産額(全産業)増加率)



産業・土石、金属製品、電気機械、輸送用機械、運輸で北勢に優位

岐阜県連携推進会議(H20.11.28)資料2
http://www.pref.gifu.lg.jp/san-ryo-koyo/kieyo-ritchi-shien/kankei-joho/news/toukan.data/siryou2.pdf

西回りの課題

- ①西回り沿線において、現時点で計画されている工場用地は東回り沿線の約4割である。
- ②東回りにおける三河地域のような製造業の大集積地(後背地)はなく、沿線地域からの拡大という意味での企業立地は、東回りほど期待できない。このため、西回り沿線の既存企業集積の拡大や新たな産業集積など多角的な視点から企業誘致が必要である。
- ③西回りのIC予定地付近は、線引き都市計画区域では市街化調整区域で土地利用が制限されている。また、非線引き都市計画区域においても農振農用地による規制がある。
- ④工場団地の確保については、都市計画上の迅速な対応が必要である。ただし、市街地が無秩序に拡大することのないような配慮も必要である。
- ⑤西回り沿線地域には、東回りと比べると大規模な集客施設や観光施設が少ないことから、新たな観光資源の開発や各地域の観光施設の連携による誘客推進戦略が必要である。

5

(3) 高速道路開通自治体における経済効果について(東海3県における3業種の仕入れ取引状況)

・川下産業の本社が集積している東京名古屋に集中している

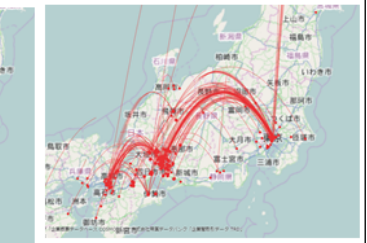
・川下産業の本社が集積している東京名古屋に集中している

・川下産業の本社や消費者が集積している東京名古屋のほか、大阪との取引も多い

・取引事業者数は多い

・取引事業者数は比較的少ない

・事業者数は関西も含め比較的多い



図三重県・愛知県・岐阜県「輸送用機械器具製造業」企業の仕入れ取引状況(2013)

図三重県・愛知県・岐阜県「電子部品・デバイス・電子回路製造業」企業の仕入れ取引状況(2013)

図三重県・愛知県・岐阜県「化学工業」企業の仕入れ取引状況(2013)

(3) 高速道路開通自治体における経済効果について(三重県における3業種の販売取引状況)

・川下産業の本社や消費者が集積している東京名古屋大阪を取引のほとんどを実施
・取引事業者数は比較的少ない。
・(考察)中部地域のサプライチェーンが確立されている

・川下産業の本社や消費者が集積している東京名古屋大阪のほか、近隣県である滋賀・岐阜との取引も多い。
・(考察)多種小ロット生産型の業種のため事業者数が多い

・川下産業の本社や消費者が集積している東京名古屋大阪を含め、ほぼ全国にわたって取引を実施。取引事業者数は多い。
・(考察)製品が直接消費者に届くことが多い



図1-13 三重県「輸送用機械器具製造業」企業の販売取引状況(三重県)(2013)



図表1-14 「電子部品・デバイス・電子回路製造業」企業の販売取引状況(三重県)(2013)



図1-12 「化学工業」企業の販売取引状況(三重県)(2013)

・仕入と同様に販売においても西回りが整備されることにより上記製造業3業種の内、特に中部地域内での取引が多い「輸送用機械器具製造業」「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が更なる発展を考えると考えられる。

7

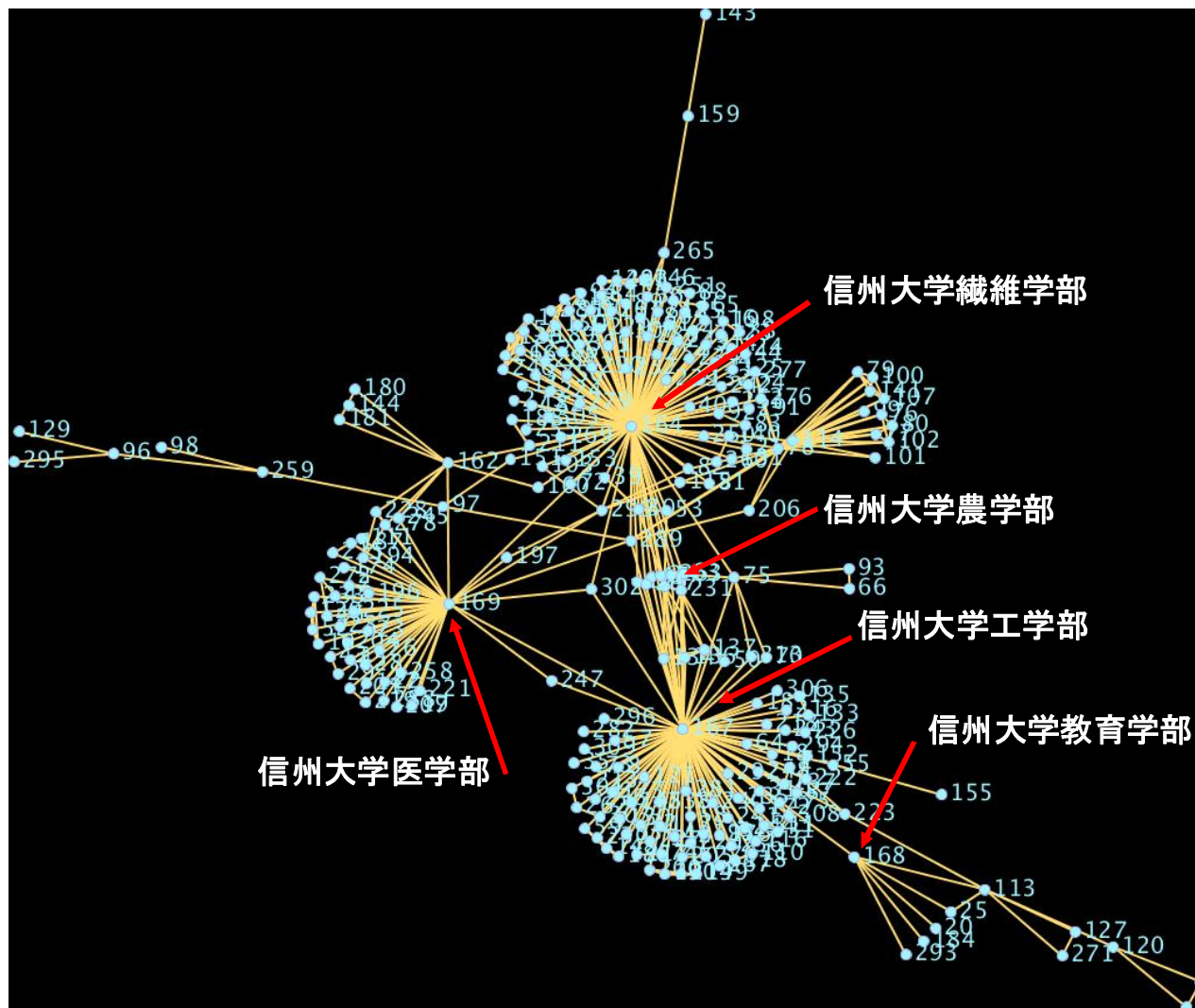
出典:株式会社帝国データバンク「企業間取引情報」

※帝国データバンクの「企業間取引情報」を用いた図表については、非公開であり、転記等は禁ずる。

2. 産業戦略検討におけるRESASの今後の可能性

信州大学の例

複数発明者による共同発明を実施している316ノードの共同出願ネットワークを可視化



信州大学におけるハブは

- ・繊維学部
- ・工学部
- ・医学部の3学部

工学部、医学部同士は密接にリンクしているが、医学部とそれ以外のリンクがうすい。

3. 観光戦略検討のポイント

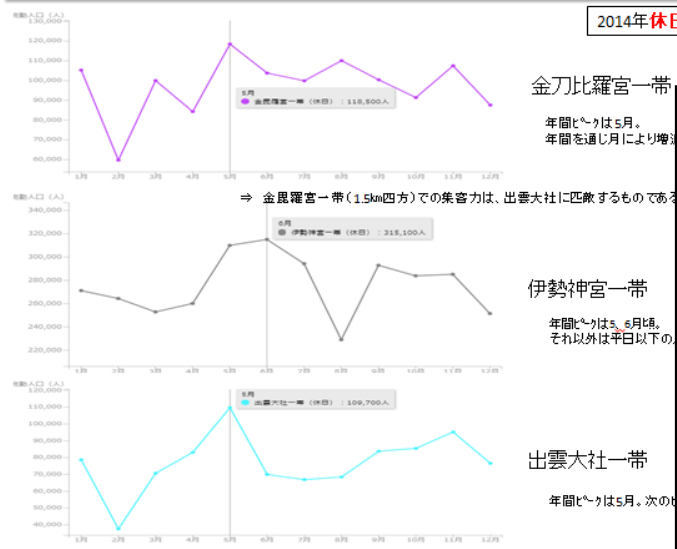
- ◆ 地域での観光振興の取組を力強いものとするには、観光地マーケティングの概念が重要。
- ◆ 観光地マーケティングの検討・立案においては、自地域が置かれている環境の分析が重要。
- ◆ マーケティングに関わる環境分析では3Cフレーム [Company (地域の場合は Community) / Customer / Competitor] が一般的。
- ◆ 3Cによって環境を複数の視座からとらえた上で、SWOT分析などを行い、マーケティングの立案を行っていくことが望ましい。
- ◆ RESASを利用することで、3Cに関わる有用なデータを容易に取得できる。

3. 観光分析の手法 ステップ1：“Community 自地域”を知る

～観光に対応する産業構造となっているか～

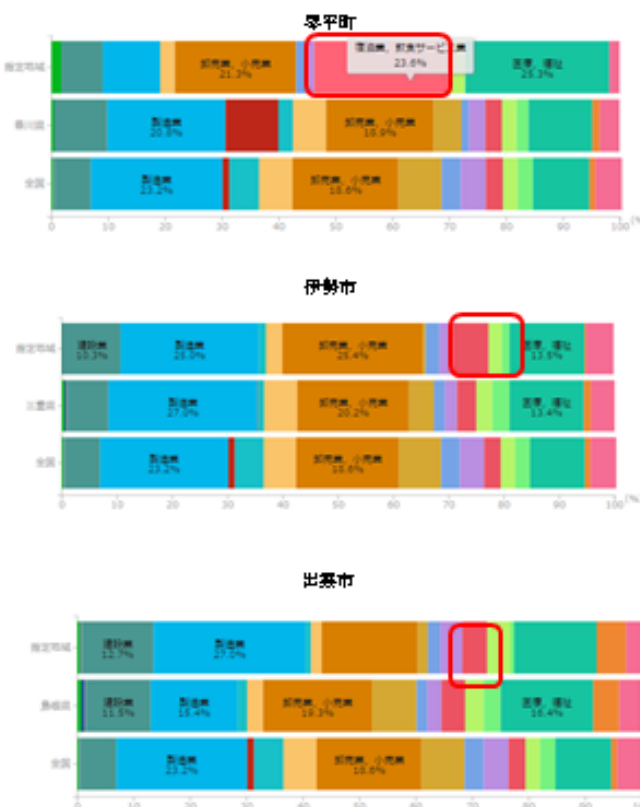
(香川県琴平町の分析より引用)

3. 観光編 3-12【観光マップ】メッシュ分析(月別推移) 金刀比羅宮・伊勢神宮・出雲大社

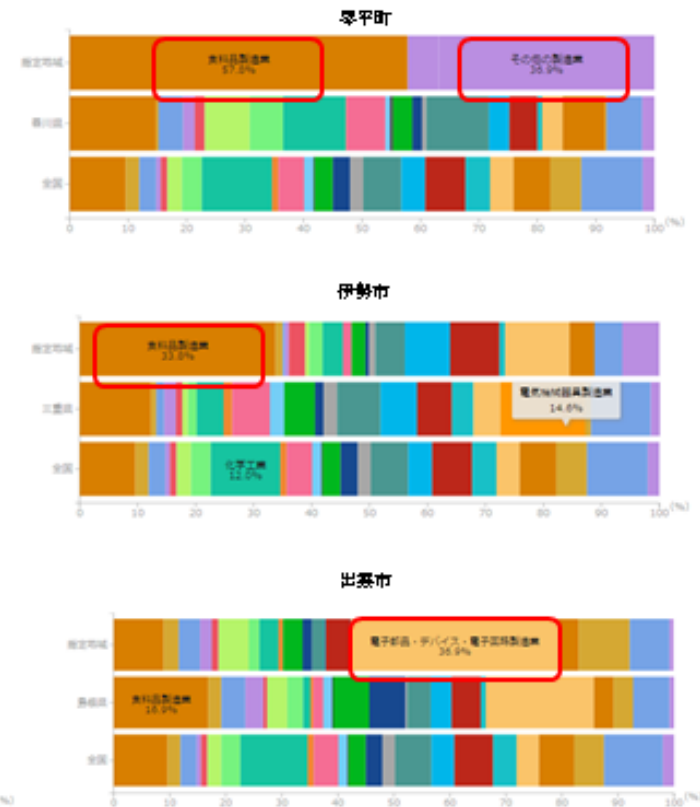


2. 産業編 2-4【産業マップ】琴平町・伊勢市・出雲市／付加価値額構成比、特化係数

産業大分類別 付加価値額構成比 (企業単位 2012年)



製造業 付加価値額構成比 (企業単位 2012年)



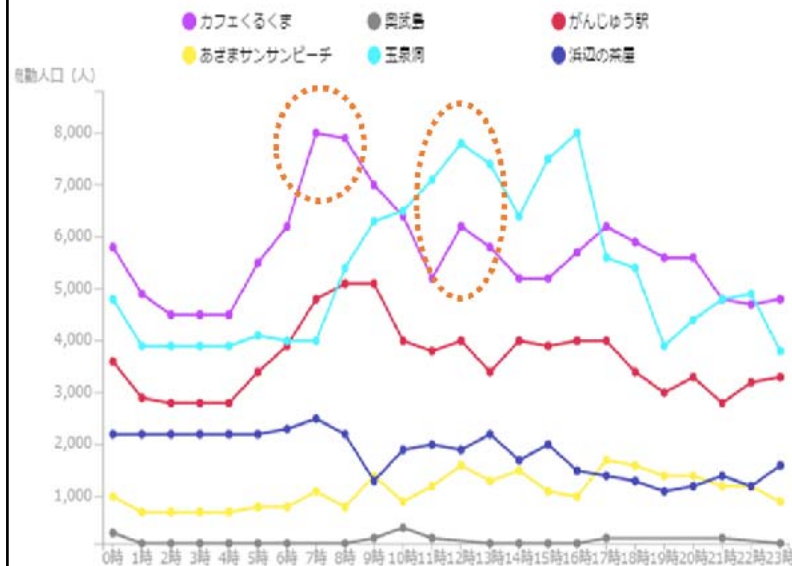
琴平町は全産業では宿泊業、飲食サービス業。製造業では飲食料品製造業のウェイトが高い。産業構造は、伊勢市に近い。(伊勢市がモデル)

3. 観光分析の手法 ステップ2: “Customer 顧客(観光客)”を知る ～いつどこに人が集まっているのか～ (沖縄県南城市の分析より引用)

メッシュ分析 (流動人口) 平日・休日 7月 時間別推移

観光スポットとして有名な「カフェくるくま」は住宅街の中にあるため、メッシュ分析による朝の流動人口は近隣住民の出勤等によるものと推察されるが、それ以外のランチ時間帯の伸びは、観光客の行動、流入客数の参考になる。また、てんぷら屋が観光スポットとして有名な奥武島については、休日における日中の流動人口増が顕著であり、これまで「多くの観光客が訪れている」というイメージでしかなかったが、実態をデータとして示すことができ、大変参考になる。今後のさらなるデータ集積に基づく流動人口、観光客の行動が把握できることに期待する。

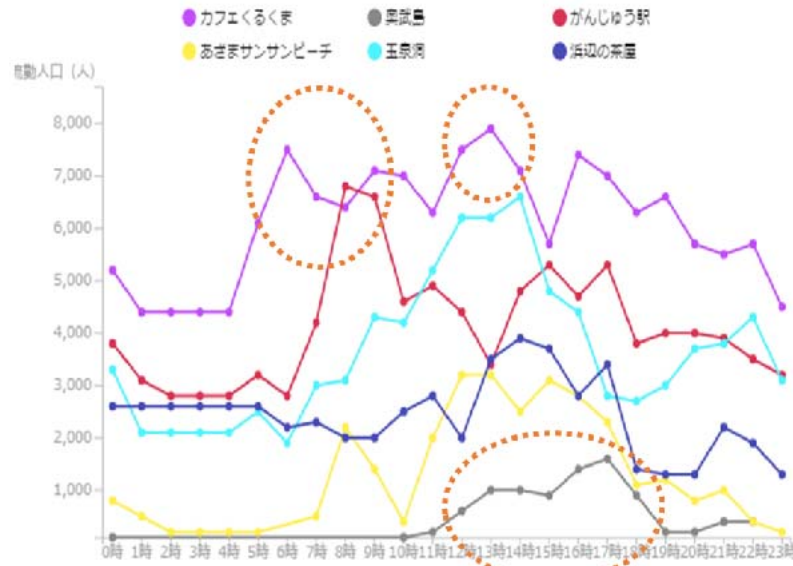
2014年(平日) 7月 時間別推移



【出典】
株式会社Agoop「流動人口データ」

Copyright (C) 2015 Agoop Corp. All Rights Reserved.

2014年(休日) 7月 時間別推移



【出典】
株式会社Agoop「流動人口データ」

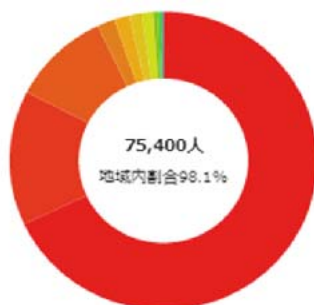
Copyright (C) 2015 Agoop Corp. All Rights Reserved.

3. 観光分析の手法 ステップ2: “Customer 顧客(観光客)”を知る ～どこから来ているか～ (秋田県湯沢市の分析より引用)

滞在人口(FROM - TO分析) 平日

湯沢市

- 2014年の平日の滞在人口比率(滞在人口76,800人+H22年国勢調査人口50,849人)は1.51である。
- 県内では、横手市からの滞在が約15%、次いで羽後町からの滞在が約10%となっている。
- 県外からの滞在者の割合は1.8%で、山形県金山町を筆頭に、岩手県西和賀町、盛岡市と続いている。



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

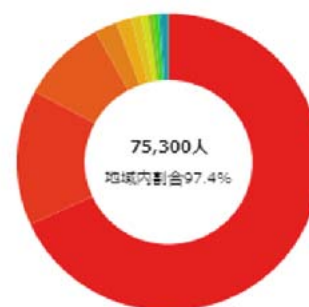
- 1位 秋田県湯沢市 51,300人 (68.0%)
- 2位 秋田県横手市 11,000人 (14.5%)
- 3位 秋田県羽後町 7,800人 (10.3%)
- 4位 秋田県秋田市 1,400人 (1.8%)
- 5位 秋田県東成瀬村 1,200人 (1.5%)
- 6位 秋田県大仙市 1,000人 (1.3%)
- 7位 秋田県由利本荘市 900人 (1.1%)
- 8位 秋田県美郷町 400人 (0.5%)
- 9位 秋田県仙北市 200人 (0.2%)
- 10位 秋田県三種町 100人 (0.1%)
- その他 100人 (0.1%)

滞在人口(FROM - TO分析) 休日

湯沢市

- 2014年の休日の滞在人口比率(滞在人口77,300人+H22年国勢調査人口50,849人)は1.52である。
- 県内では、平日と同じく、横手市からの滞在が約15%、次いで羽後町からの滞在が約10%となっている。
- 県外からの滞在者の割合は2.5%で、岩手県奥州市を筆頭に、山形県金山町、新庄市と続いている。

滞在



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

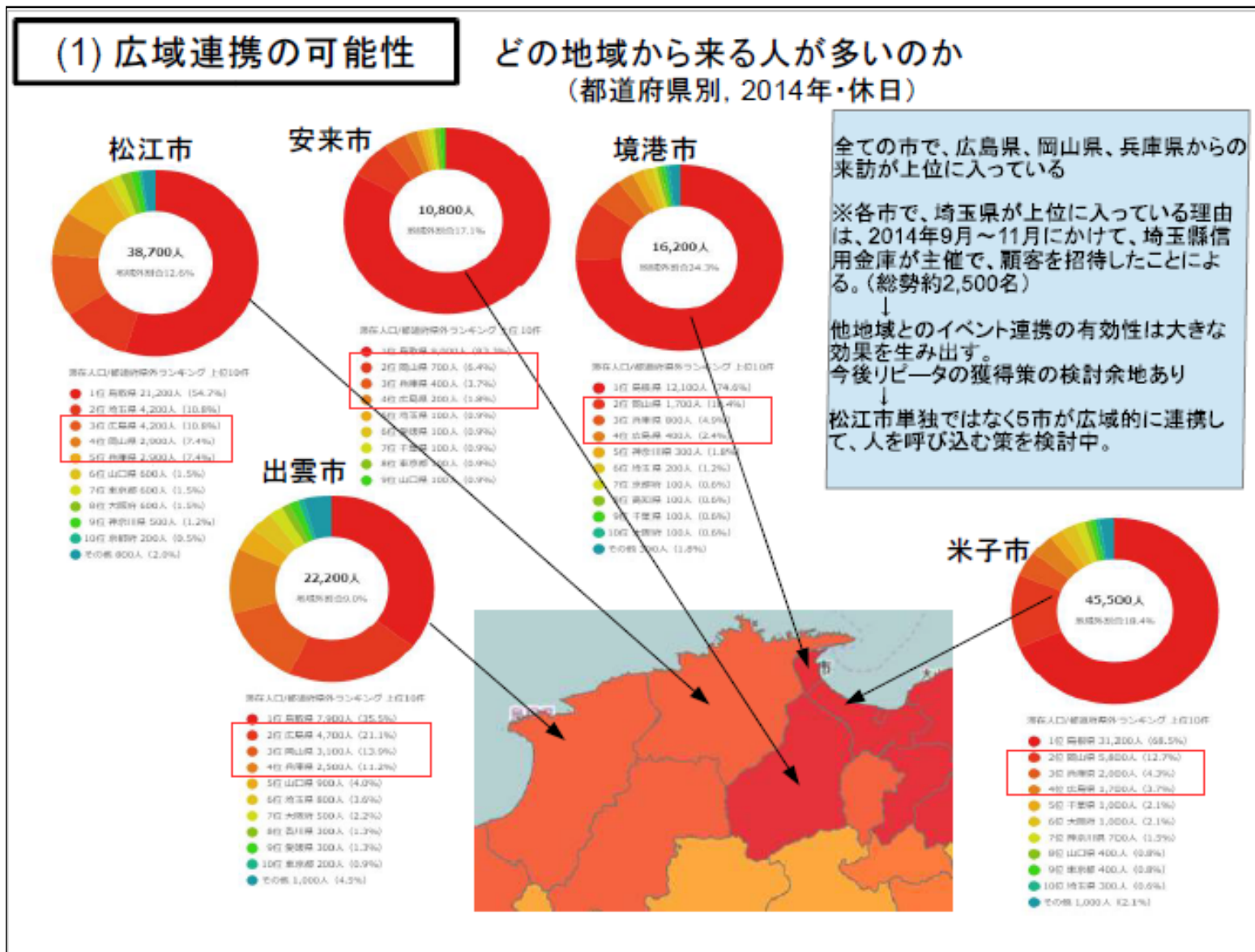
- 1位 秋田県湯沢市 51,300人 (68.1%)
- 2位 秋田県横手市 11,100人 (14.7%)
- 3位 秋田県羽後町 6,900人 (9.1%)
- 4位 秋田県大仙市 1,800人 (2.3%)
- 5位 秋田県秋田市 1,200人 (1.5%)
- 6位 秋田県東成瀬村 800人 (1.0%)
- 7位 秋田県由利本荘市 600人 (0.7%)
- 8位 秋田県美郷町 400人 (0.5%)
- 9位 秋田県仙北市 400人 (0.5%)
- 10位 秋田県にかほ市 200人 (0.2%)
- その他 600人 (0.7%)



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 岩手県奥州市 300人 (15.0%)
- 2位 山形県金山町 200人 (10.0%)
- 3位 山形県新庄市 200人 (10.0%)
- 4位 宮城県大崎市 200人 (10.0%)
- 5位 岩手県一関市 200人 (10.0%)
- 6位 岩手県盛岡市 100人 (5.0%)
- 7位 新潟県上市 100人 (5.0%)
- 8位 山形県真室川町 100人 (5.0%)
- 9位 山形県村山市 100人 (5.0%)
- 10位 山形県酒田市 100人 (5.0%)
- その他 400人 (20.0%)

3. 観光分析の手法 ステップ3: “Competitor 競合先(と連携先)”を知る ～旅行動線から連携できる地域はあるか～ (島根県松江市の分析より引用)



3. 観光分析の手法 ステップ3: “Competitor 競合先(と連携先)”を知る ～同様の観光資源を持つ地域との集客圏比較～ (島根県松江市の分析より引用)

松江市にはどの地域から来る人が多いのか(2014年・休日)

中国地方や関西地方、関東地方からの集客は多いが、東海地方からは集客できていない

- ・出雲名古屋線の就航(2015年3月)
- ・愛知県大口町との姉妹都市提携(2015年8月)

＜今後のターゲット＞
空白エリア

今後は、この航路で東海地方から人を引きこむ

↓

姫路城に負けないほどの全国広範囲から人が来る城になる

↓

姫路城とタイアップして、西日本の城への人の呼び込みも検討の余地あり

滞在人口/都道府県別ランキング 上位10件

1位 東京都	21,200人 (54.7%)
2位 埼玉県	4,200人 (10.8%)
3位 千葉県	4,200人 (10.8%)
4位 岡山県	2,000人 (7.4%)
5位 兵庫県	2,000人 (7.4%)
6位 山口県	600人 (1.5%)
7位 東京都	600人 (1.5%)
8位 大阪府	600人 (1.5%)
9位 神奈川県	500人 (1.2%)
10位 東京都	200人 (0.5%)
その他	800人 (2.0%)

姫路市にはどの地域から来る人が多いのか(2014年・休日)

関西地方からの集客が多いが、その他の地域からも広範囲に集客できている

滞在人口/都道府県別ランキング 上位10件

1位 大阪府	13,700人 (22.2%)
2位 岡山県	9,000人 (17.7%)
3位 京都府	3,200人 (4.8%)
4位 広島県	2,000人 (4.8%)
5位 兵庫県	1,800人 (4.3%)
6位 東京都	1,600人 (3.8%)
7位 千葉県	1,500人 (3.6%)
8位 東京都	1,000人 (2.4%)
9位 東京都	800人 (1.9%)
10位 山口県	800人 (1.9%)
その他	5,800人 (14.0%)

犬山市にはどの地域から来る人が多いのか(2014年・休日)

東海地方からの集客が多い

滞在人口/都道府県別ランキング 上位10件

1位 岐阜県	17,300人 (82.3%)
2位 三重県	1,200人 (5.7%)
3位 長野県	800人 (2.0%)
4位 石川県	400人 (1.9%)
5位 静岡県	300人 (1.4%)
6位 東京都	200人 (0.9%)
7位 東京都	200人 (0.9%)
8位 東京都	200人 (0.9%)
9位 東京都	100人 (0.4%)
10位 東京都	100人 (0.4%)
その他	400人 (1.9%)

地域経済分析システム（RESAS）をさらに活用するためのポイント

- ◆ 異なるマップ（メニュー）のデータの組み合わせにより、**重層的な分析が容易に**。
- ◆ 「人口」、「産業」、「観光」の垣根を越えた分析を行うことで、**本質的な地域活性化策の検討が可能に**。
 - （例）若年層の人口流出を食い止めるだけの魅力的なしごと（生産性の高い産業）があるか？
 - （例）域外から観光客を受け入れるための、地域の産業の厚み（サービス産業の規模）があるか？
- ◆ 多様なビッグデータの組み合わせで、**政策立案やビジネスに無限の可能性**。

以下の自治体から、分析事例をご応募をいただきました。
ありがとうございました。

(自治体からの応募 30件)

秋田県	湯沢市	富山県	高岡市	島根県	松江市
山形県	酒田市	石川県		徳島県	
山形県	天童市	岐阜県	瑞浪市	徳島県	美馬市
		三重県		香川県	
群馬県		三重県	尾鷲市	香川県	琴平町
群馬県	太田市			高知県	
東京都	立川市	滋賀県			
東京都	日野市	大阪府	堺市	福岡県	うきは市
神奈川県		大阪府	大東市	大分県	
		大阪府	門真市	熊本県	合志市
		兵庫県	尼崎市	沖縄県	南城市
		福井県			
		福井県	高浜町		

(個人の方からの応募 5件)

北海道 奈井江町
宮城県 女川町
神奈川県(3件)

地方創生☆RESAS地域セミナーの開催について

地域の「今」と「未来」を「見える化」するシステム

「RESAS」を理解していただくための地域セミナーを全国10地域で開催します。

開催スケジュール

北海道	東北	関東	中部
開催日:9/25(金) 10:00~12:00 一般向け (開場9:30) 13:30~16:30 自治体職員向け (開場13:00) 定員:300名 会場:京王プラザホテル札幌2階エミネンスホール 北海道札幌市中央区北5条西7丁目2-1	開催日:10/5(月) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:300名 会場:AER21階 TKPガーデンシティ仙台ホールA 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1	開催日:10/8(木) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:500名 会場:さいたま新都心合同庁舎1号館2階講堂 埼玉県さいたま市中央区新都心1-1	開催日:9/29(火) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:300名 会場:名古屋ATビル2階名古屋サンスカイルームA室 愛知県名古屋市中区錦1-18-22
北陸	近畿	中国	四国
開催日:9/18(金) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:90名 会場:富山地方合同庁舎5階共用会議室 富山県富山市牛島新町11-7	開催日:10/9(金) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:500名 会場:リソな銀行大阪本店ビル地下2階講堂 大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	開催日:10/13(火) 11:00~12:00 自治体職員向け (開場10:30) 12:45~14:45 一般向け (開場15:00) 定員:450名 会場:広島県会館地下2階国際会議ホール「ヒマワリ」 広島県広島市中区中島町1-5	開催日:10/2(金) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:200名 会場:高松サポーター合同庁舎低層棟2階アイホール 香川県高松市サポーター3-33
九州	沖縄		
開催日:9/28(月) 12:30~15:30 自治体職員向け (開場12:00) 16:30~18:30 一般向け (開場16:00) 定員:500名 会場:福岡県中小企業振興センター2階大ホール 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15	開催日:10/1(木) 13:00~16:00 自治体職員向け (開場12:30) 16:30~18:30 一般向け (開場16:15) 定員:130名 会場:那覇第2地方合同庁舎1号館2階大会議室 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1		

詳細・お申し込みはこちら ⇒ <http://nkbp.jp/resas>